

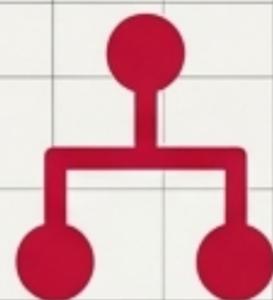
PLaMo 3.0 Prime

国内初、本格的な「Reasoning（長考）」を備えたフルスクラッチLLM

The Next Generation of Japan's Enterprise AI

Preferred Networks (PFN)

Executive Summary



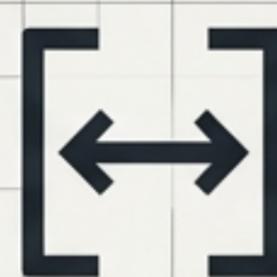
イノベーション

フルスクラッチ開発
& **国内初の長考
(Reasoning)** モデル。DeepSeek R-1等の手法を参考にした思考エンジン。



パフォーマンス

グローバル**最高峰**に匹敵。Qwen3-235Bやgpt-oss-120bと同等以上の指示追従・対話能力を実現。



アーキテクチャ

コンテキスト長の大幅拡張。YaRN採用により最大64Kトークン（出力20K）に対応。



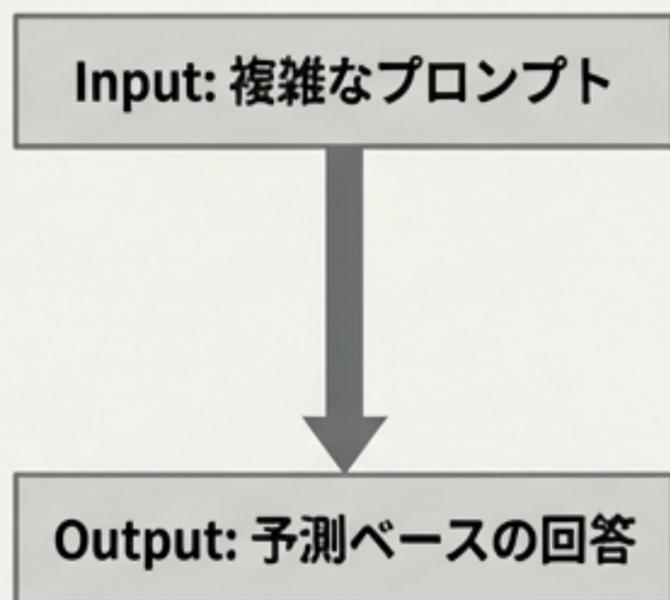
マイルストーン

2026年3月 β版リリース。実環境での検証を経て、**2026年6月中旬**に商用化予定。

Reasoning（長考）のメカニズム

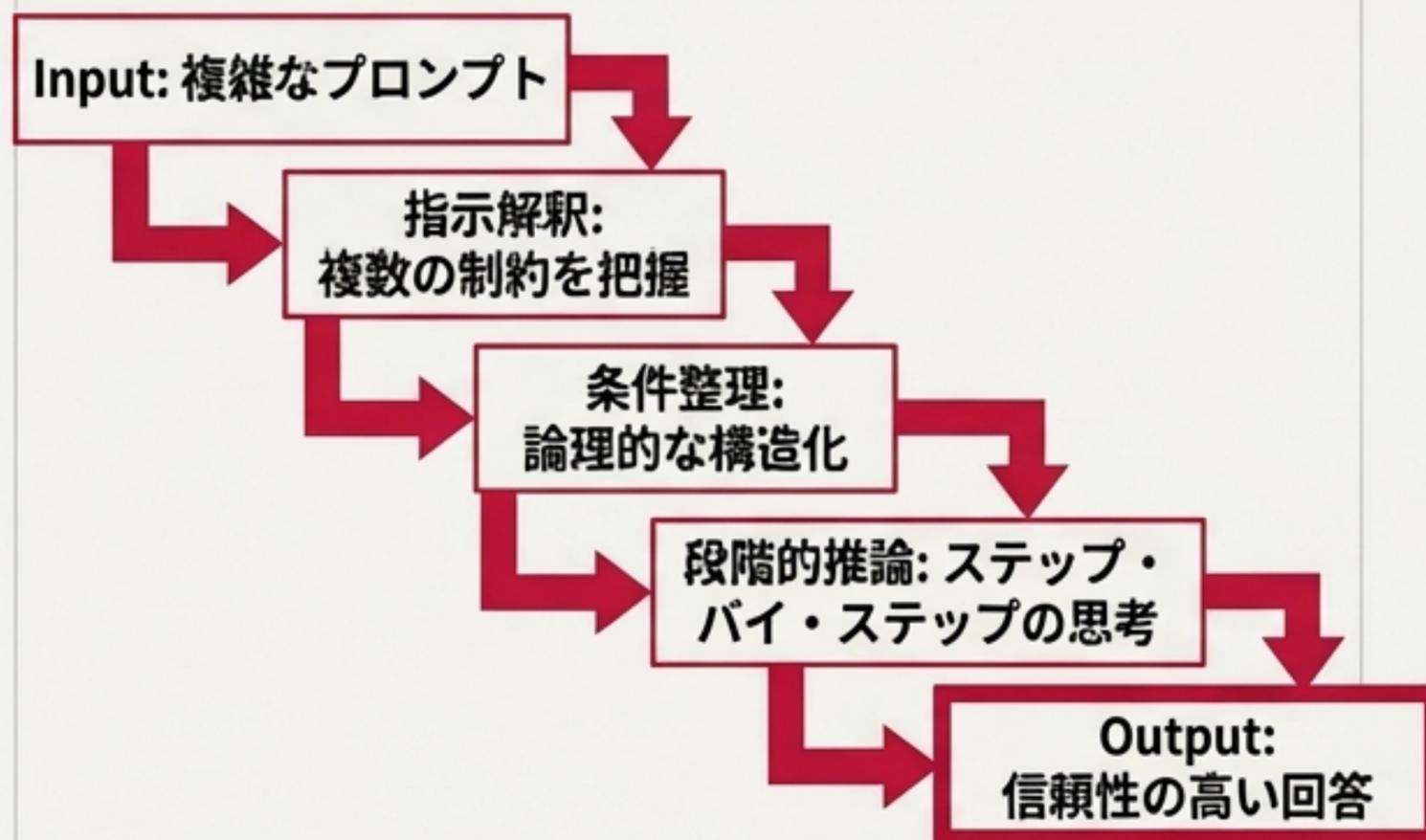
従来のLLM

「単なる応答生成（文脈の取りこぼしリスク）」



PLaMo 3.0 Prime

「論理的思考プロセス（信頼性の高い思考エンジン）」



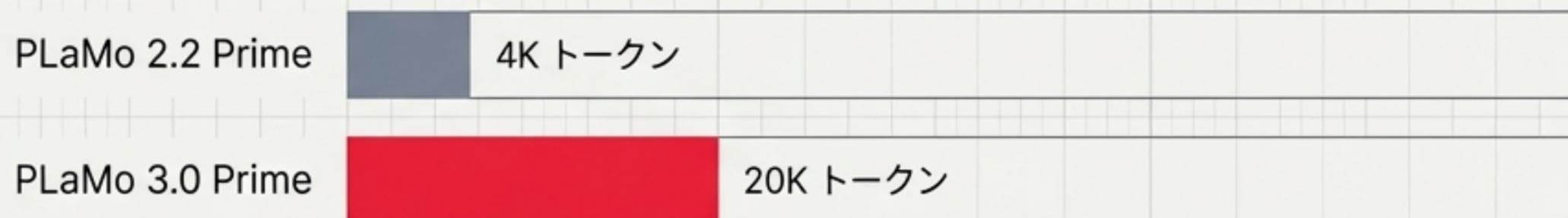
複雑な条件を正確に解釈し、結論に至るまでの「過程」を構築することで、ハルシネーションを抑えた高度な意思決定支援が可能に。

コンテキスト長の大幅拡張：推論を支えるメモリ基盤

入力コンテキスト長 (Input)



出力コンテキスト長 (Output)



技術的ブレイクスルー

継続的事前学習手法「YaRN」の採用。

長考 (Reasoning) プロセスが生み出す膨大な中間思考プロセスと、詳細な長文回答を支えるための必須アーキテクチャ。

グローバルモデルとの性能比較（基礎・対話能力）

日本語指示追従性能（JFBench）

同等以上



英語指示追従性能（IFBench）

同等以上



日本語対話能力（Japanese MTBench）

同等以上



英語対話能力（MTBench）

同等以上



言語の壁を越え、2,000億パラメータ超のグローバル最高峰モデル（Qwen3-235B等）と互角に渡り合う基礎性能を証明。

専門領域への適応：医療・法令分野におけるドメイン特化性能



汎用的な会話だけでなく、高度な論理的整合性が求められる「医療」「法律」の専門領域において、海外巨大モデルに肉薄する圧倒的なドメイン適応力を発揮。

徹底した透明性：現在の課題と6月商用化に向けたターゲット

評価軸	現状のステータス	今後のアクションプラン
数学的推論能力 (AIME 2024)	比較対象 (Qwen等) に大きく劣る。	段階的推論のアルゴリズム最適化により、数理的問題解決能力を強化。
高度なツール利用性能 (BFCL)	単一ツールでは高スコアを記録するも、複数ツールからの段階的選択において課題。	AIエージェントとしての基盤強化・外部API連携精度の向上。

現在のβ版モニターを通じて実トラフィックのデータを収集し、これらの弱点を克服した上で6月中旬の商用版リリースへ。

AIユースケースの進化：チャットボットから戦略的エンジンへ



「単なる応答生成」から「論理の構築」へ。PLaMo 3.0 PrimeのReasoning機能は、複雑なビジネス要件を解きほぐし、経営層や専門職の高度な判断を直接サポートする基盤となります。

盤石な国産AIエコシステム：垂直統合による展開

Solutions & Integrations

クラウドAPI, Amazon Bedrock, Snowflake, オンプレミス, miibo, Tachyon Generative AI, QommonsAI

Prime
(フラッグシップ)

Lite
(エッジモデル)

Translate
(Gennai採用
翻訳モデル)

Finance
(金融特化)

Infrastructure (PFN 垂直統合開発)

チップ、インフラ、モデル、ライブラリの自社開発。GENIAC第3期プロジェクトによる支援。

開発から提供までを垂直統合。700以上の自治体やエンタープライズに届く、国産AIエコシステム。

商用化へ向けたロードマップ

2026年3月19日



β版リリース & 無償モニター企業募集開始。

2026年3月23日



Reasoning機能の公開と詳細検証の開始。

Phase: 3月～6月

実環境トラフィックでの安定性検証・応答速度の最適化。ユーザーフィードバックを通じた弱点（数学・複数ツール利用）の克服。

2026年6月中旬



商用版 正式リリース予定。コンテキスト長のさらなる拡大と実務タスク全般の性能向上。

次世代の「思考エンジン」を、貴社のビジネスで。

現在、2026年6月の商用化に向けた無償モニター企業を募集しております。
国内初のフルスクラッチ Reasoning モデル「PLaMo 3.0 Prime β 版」を、
いち早く実業務でご体感いただき、日本のAIエコシステムの未来を共創してください。



モニター企業への応募・詳細はこちら